

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)		家電量販店（店員）	販売量の動き	・主要商品だけでなく小物も販売数量が大幅に増加している。
		家電量販店（副店長）	来客数の動き	・今月までは消費税増税前の特需で、特に大型商品の販売が好調である。
		百貨店（営業管理担当）	お客様の様子	・9月に入り、高額品に加えて化粧品や婦人服などその他のアイテムにも消費税増税前の駆け込みがみられるようになり、好調に推移している。
		百貨店（販売促進）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要があり、特に長く使用できる必需品が売れている。また、この機会に少し良いものを購入する傾向がある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・今月の前半は、今までと同じような傾向が続いていた。しかし、ここに来て消費税増税前の駆け込み需要があり、直近では景気が上向いている。
		スーパー（人事）	販売量の動き	・軽減税率の対象にならない商品については、客が買いだめしている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・客単価は上昇しており、来客数も割と多い。徐々に景気は上昇している。来月から消費税が増税されるため、駆け込み需要かもしれないが、景気は少し上昇している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べるとやや良いが、昼の乗客は少ない。デマンドタクシーの利用が増えている。夜になると、一次会で帰る客がJRや路面電車等の公共交通機関で帰宅するケースが多い。
		商店街（事務局長）	販売量の動き	・宝飾品、時計、アパレルなどの高額品には一部、駆け込みの動きがあり、特定のブランドでは前年比2倍の売上になることも出た。一方、中低価格帯の商品を扱う店は駆け込み需要もなく、庶民の財布のひもは今夏以降固くなっており、消費税の増税前となっても苦戦を強いられた。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・9月の2回の3連休に観光客を含めてかなりの来客数があった。また、最終の土日の28日、29日も、イベント等のお陰で、かなりの来客数があった。しかし、目の前に迫った消費税増税については不安がかなりある。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・過去の5%、8%の消費税増税直前は駆け込み需要で売上が伸びたが、今回は駆け込み需要で盛り上がることはなかった。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・消費税増税が控えていたが、買いだめの買い回りもほとんど発生せず、特に動きは見られなかった。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数が前年を超えている。客の様子も明るく10月以降、景気は落ち込まないのではないかと。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・天候や気温によりやや回復基調にみえるが、来客数は相変わらず前年割れが続いている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・6月以降は、前年並みか、やや下回っており、この9月は消費税増税の直前で駆け込みが多少あるかと期待していたが、衣料品の高額商品も含めて微々たるものだった。台風や暑さで、初秋物が厳しく、結局のところ微減で終わった。
		衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み消費はほとんどない。前年をやや下回って推移している。
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込みは余り感じられない。増税後の落ち込みは不安要素だが、衝突安全装置付き車両への買換え需要は引き続き底堅いだろう。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要は化粧品等でみられたが、その他の部門ではみられなかった。景気は良くも悪くもない。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・当地は今年度初めから温泉本館の工事をやっている。また、旅館が5軒工事をしており、うち3軒は完成したが、残りは工事中で一時的に部屋数が不足している。そのため、8～9月は例年と変わらない状況である。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・消費税増税の影響か、例年なら年末年始の予約で販売が伸びる時期なのに、今年はまだ伸びてこない。

	タクシー運転手	来客数の動き	・結構、暑かったため、近場に移動する客の乗車もあったが、夜の客が少なかった。お遍路もこの時期はまだ少ないため、売上は余り良くなかった。
	通信会社（技術）	販売量の動き	・新規契約する客と、解約する客の割合の差が余りない。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・固定客はある程度安定しているが、その他は余り変化がない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・世界の政治不安は経済不安につながり、先行きの変化が全く読めない混とんとした時代になっている。その中で消費税が上がリ、複雑な軽減税率等もあいまって当面景気が上向く要素は何もなくなっている。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み消費はほんの少力で、売上増加まではいかない。生活消耗品を扱う店ではないので、買い控える客がいる。敬老の日などの贈り物のように必要な商品は売れるが、ふだんの売上が落ちている。
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・例年9月は飲食店の客が減少するため、売上は伸びなかった。消費税増税前であったが、一般家庭の買いだめはなかった。
	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・消費税増税の駆け込み需要が弱い。
	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税前に納車が間に合わないのので、駆け込み需要が見られた頃に比べて販売量が落ちている。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客単価が下がってきている。一組当たりの売上平均が下がってきている。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・若干、来客数が減っている。また、消費税増税のため、若干、客に買い控えの雰囲気が出てきている。景気は少し悪くなりつつある。
	競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・入場者数は減少傾向にあり、それに比例して売上額も減少傾向にある。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・7～8月が売上が上がる分、毎年平均して9月は売上が落ち込みやすい。対策として夏の紫外線ダメージのヘアケアを打ち出しているが、なかなか伸びない。
×	コンビニ（店長）	お客様の様子	・9月中旬までは順調に推移していたが、22日から天候不順で失速し、その後も減退しているため、相変わらずの前年割れとなった。消費税増税前の駆け込みも見られない。
×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税増税を目の前に控えて、新車受注台数は前年比で大幅な減少である。
×	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要もなく、来月は買い控えが起こる。
企業 動向 関連  (四国)	-	-	-
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月は連日猛暑が続き、小売店店頭でのタオル類の販売が全国的に順調であったため、売上が増加し、7月の天候不順による落ち込みをカバーした。9月は以前の消費税増税ほどではないが、中旬からまとまった受注が見受けられ、小売店の店頭は順調に推移している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事共に、動きが出てきた。
	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・農業向け製品で消費税増税前の駆け込み出荷が増加した。また、日用品なども一部で同様の傾向がある。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量の動きに大きな変化はない。
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・当社からの製品出荷量について、3か月前と比べてほぼ同程度で推移している。併せて、販売単価に関しても変動していない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注額は、企業によって格差はあるが、おおむね例年並みの額に達してきている。売上額は、仕事の端境期のため、月間ベースでは低調であるがこれも例年並みである。

	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・10月の消費税増税を前にした駆け込み需要の影響と思われる物量の増加が見られたのは9月下旬に入ってからであり、かつ極めて小幅な増加にとどまった。販売店などが集客を狙って定期的に大幅値引きを強調したチラシを配布している事や、消費税増税後に始まるキャッシュレス決済時のポイント還元制度を控え、消費者の購買動向は落ち着いている。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の販促広告を期待していたが、一部の客で微々たる増加があったものの、全体としての影響は少なかった。
	農林水産業（職員）	取引先の様子	・軽減税率の導入を前に、卸売会社は事業者の大小にかかわらず、システム変更のために一定の出費を強いられている。また、台風15号による被害や、残暑が長引いたことから秋商材の売れが鈍く、荷動きは引き続き低調である。
	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量は安定しているが、人手不足のために生産量、販売量が落ち込んでいる。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特に大型の太陽光発電の建設については、新しい受注がない。今までの受注残で耐え忍んでいる。今は何とかやっているが先が見えない。
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・消費税増税及び先行き不安で悪い方向に向いている。
	輸送業（経理）	取引先の様子	・消費税増税に伴う駆け込み需要はあるものの、倉庫在庫が減少することで、固定収入となっているペースカーゴが確保できなくなる状況が発生している。
	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前にもかかわらず、さほど大掛かりな広告出稿はなかった。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先をモニタリングしたところ、業績が悪化している会社が目立った。
	公認会計士	取引先の様子	・今月の各企業の決算書、試算表等を分析すると、前年に比較して悪くなっている企業が60%となっている。
	x	*	*
雇用 関連 (四国)		-	-
	学校〔大学〕 （就職担当）	それ以外	・消費税増税前で景気が今は良くなっているが、来月以降は不透明である。
	*	*	*
	人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・消費税の増税前で、生産現場での需要が一時的に増えているが、残業程度であり、増員までにはいたらない。
	人材派遣会社 （営業担当）	採用者数の動き	・派遣による採用人数が目減りしている。
	求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・地元各社では業種を問わず人手不足が続いているが、必要数を採用できているところは少ない。
	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	・8月の有効求人倍率は1.51倍で、3か月前と比べて、0.07ポイント上昇しているが、前年同月比では減少となった。また、管内の企業整備の情報が小規模から中規模のものが幾つか出てきている。
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・消費は冷え込んでいる。消費税増税前の駆け込み需要も期待したほど伸びず、売上が前年度を割っている小売店、サービス業も多くみられる。企業によっては、本業は維持しながら、今後は、他業種に比重を移していく企業もみられる。
	x	-	-